

2026（令和8）年度 教養学部地域社会学科 一般選抜（中期）講評

1. 出題の意図

課題文は、岡野八代（2024）『ケアの倫理』（岩波書店）より終章の抜粋である。キャロル・ギリガン『もう一つの声で』にはじまり、近年議論が盛んにおこなわれているケアの倫理を題材とした出題である。「ケアの倫理」という言葉を知らなくても、数年前に誰もが経験した新型コロナウイルスによるパンデミック下での出来事を題材にしており、書かれている事実は理解しやすかったと思われる。経験を高校の「公共」や「政治・経済」で学習した内容と結びつけて、理論的、概念的に理解し、文章として表現できるかを問うことを意図している。

設問に関しては、論理的な文章を読解し、要約する力を問う問1-2、及び問3（前半）と、それを踏まえて社会問題に結びつけて論じる問3（後半）という構成となっている。

大学での学修では、相当な量の論理的な文章を読みこなす力が求められる。その際、同義語、反意語を確認して読み進め、大意をつかむことが大切である。その力を問うために、中期日程の設問は長文の出題としている。日常的に論理的な文章を読んで、全体を貫く主張を把握する訓練を積み重ねてほしい。

2. 評価のポイント

問1

問1は読解問題である。筆者の中心的な主張は繰り返し文中に登場しており、同様の主張がより簡潔に示されている箇所をまとめればよい。

問2

問2も読解問題であり、問1と同様、前の段落の内容をまとめられれば問題なく解答できる。

問3

問3の前半も、読解問題である。「こうした網の目のように」とあるので、直前の内容をまとめればよい。

問3の後半は、ここまで読解した内容に、高校までの学習や経験、見聞を踏まえて論述することを求めている。

3. 採点講評

問1

比較的理解しやすい設問だったようで、正答率は高かった。

段落の始まりは、「しかし、こうしたケアの連鎖ともいえるつながり」とあるように、直前に同じ内容があることを示している。前の段落の「ケアの入れ子状態」と「ケアの連鎖」が同義であることに気が付けば、前の段落の内容をまとめればよいことがわかる。

問2

段落ごとにポイントを読み取ることに慣れていれば、直前の段落の「フォーブレはフェミニスト経済学者として」という文章がフォーブレの主張を示した内容であることに気が付くだろう。その内容をまとめればよい。

なお、本論のように「主流の経済学」と「フェミニスト経済学」という二つの対比がなされている場合は、対比を明確化した記述が求められる。

しかし、以下のような解答もあった。

- ・「狭すぎる」と批判されていることに対して、「より広い」という漠然とした回答にとどまっている。
- ・不用意に別の言葉に言い換えをしているため、内容が変わってしまったものもあった。

問3

〔前半〕

「こうした網の目のように」とあり、直前の内容をまとめればよい。市場で多くを生産できているかに見える労働者の働きは、「その他の多くの働きや営み」によって支えられているという点が解答できればよい。

正答率は高かったが、以下のような解答もあった。

- ・ここでの働きや営みは、保育士や医療従事者に限定されず、パンデミック下で起きた事態をさらに一般化して論じたものだが、保育や医療に限定してしまったために減点となった例があった。
- ・文章をよく読まずに、問1、問2の内容を繰り返している答案があった。

〔後半〕

まず、「それらのつながり」とあるので、「網の目のよう」な「つながり」であることは明白で、ここまで読み進めた文章全体の議論を踏まえて考えてほしい。問1から問3前半までの問いもそのヒントになっている。本文全体の大意をつかんだうえで、見聞や経験を論理的に書くには想像力も求められる。

さらに、思いついた内容を深めて議論を展開する姿勢がほしかった。一つのトピックを深めないまま短く終えて、別のトピックを並列した答案も多かった。文字数を増やそうとしたと思われるが、関連性があまりない内容を並列したために、論理一貫性のない答案になってしまった。

おおよそ出題の意図にそった解答例としては次のものがあった。

(解答例)

- ・長時間労働の解消／ワークライフバランスの実現によるケア時間の確保
- ・育休を取得しやすい環境づくり

- ・保育士の賃金の上昇／雇用の安定
- ・看護師、介護士、ケアマネジャーの待遇改善
- ・放課後の子どもの居場所 /等

一方、減点となった解答には次のようなものがあった。

- ・一般的な人間関係、地域での関係性だけに言及しており、ともかく人が増えればよい（移住など）、地域活動を行えばよいという議論になっており、「ケア」との関連がまったくない議論
- ・本文の主張をふまえないまま、一般的な「つながり」を論じた内容
- ・下線部にある「政治とは～考えることである」に引きずられる形で、政治参加、投票行動等のみを議論した内容
- ・「知ることが大切」「意識を変えることが大切」「教育が大切」という、具体性に欠ける議論
- ・複数の事例を盛り込んだことにより、文章の意味が不明になったもの

〔前半・後半を通じて〕

- ・基本的な漢字の誤りがあった。例：「託児所」が「詫児所」となっているもの、「育児」が「育事」となっているもの、「維持」が「推持」となっているものが複数あった。
- ・文字が判読できない答案があった。
- ・文字と句読点を同じマス目に書いているなど、基本的な作文の作法が守られていない答案があった。
- ・計 600 字にもなる論述なので、書きだしの文字下げをする必要があるが、字下げがないまま書かれている答案があった。

以上